**2017年度　事業報告書（2017.4.1～2018.3.31）**

1．音楽、演劇、講談などによる啓発活動事業

(1)講演会の開催

　　　1）西尾正道さん（北海道がんセンター）

＊タイトル：原発と放射能～福島における被曝の実態と向き合って～

＊開催日：5月21日（日）

＊会場：明治大学リバティータワー

＊参加者：90人

**＊執行額：46,781円**

(2)報告会の開催

2）安竜昌弘さん（日々の新聞編集人

　＊タイトル：「在いわきジャーナリストが見た分断された「福島」

 ＊開催日：12月17日（日）

＊会場：本郷文化フォーラム

＊参加者：30人

　　　　　　　　　**＊執行額：37,040円**

(3)広報による啓発活動

　　①機関紙「此処彼処」を年2回発行しました。

　　　＊発行：9月、3月

　　　＊発行部数：各1,000部

　　　＊郵送人数：230人

　　②メルマガ/Facebook：随時配信しました。

　　③ホームページ：製作会社に管理を委託し、内容の充実を図り随時情報を発信しました。

　　　　　　　　　**＊執行額：265,706円**

2．福島在住の人たちへの支援とネットワークづくり

　　(1) 現地を知り、交流するツアーを実施しました。今年度も帰還が進められている飯舘村を中心に実施し、福島の現状を知る機会になりました。

　　　＊開催日：11月4日～5日

＊内容：三春町（武藤類子さん/環境創造センター）、福島市常円寺（阿部光裕さん）、

飯館村（長谷川健一さん）、希望の牧場

＊参加者：27人

**＊執行額：　600,971円**

　　(2)　祈念コンサート

　　　　　＊開催日：9月23日

　　　　　＊内容：舞台芸術による被災地の「心の福＜復＞興支援コンサート

　　　　　　　　　岡まゆみソロライブ

　　　　　＊会場：郡山市立中央公民館多目的ホール

＊参加者：180人

　　(3）今年度も2か所から福島の人たちへ物品寄付の申し出に対して調整をして、その思いを現地に繋げました。

　　　　・みかん～幼稚園、児童養護施設、知的障がい児者施設など3か所

3．放射能から子どもたちを守る活動

　(1) 心のリフレッシュを図る文化出前公演

　　　　保養に参加できない子どもたちへの心のリフレッシュを図るために、韓国で活動しているアフリカのグループを招聘し、音楽とダンスのワークショップを開催しました。大変好評でした。

　　＊内容：アフリカの音楽とダンスによるワークショップ

　　＊対象者：幼稚園・障がい者施設など4か所　計260人

　　＊実施日：9月25日～28日

　　　　　　　　　　**＊執行額：387,495円**

　(2）保養キャンプ

小諸市を拠点に保養事業をしている（社団法人）わくわくのびのび・え子ども塾と連携して保養事業を実施しました。

　　　＊対象者：福島県南相馬の小学生20人

　　　＊実施日：8月3日～6日

　　　＊場所：小諸市エコビレッジ

　　　　　　　　　　　　　　**＊執行額：230,000円**

4.　福島のコミュニティー再構築の支援活動

　　　他団体の賛同団体となり、連携して提言活動に取り組みました。

　　　　　　　　　　　　　　**＊執行額：　29,326円**